

中高生とともに差別と闘う

「進路公開」

吉成タダシ



自己開示するアオイ

ママと同じ地区出身のアオイが、ママに呼応するかのようにならないうち、少し不安そうに手を挙げました。アオイは、感情の起伏が激しいときがあり、度々周囲を戸惑わせてしまふことがありました。その訳を、このとき初めて、やっとの思いで、みんなに告白するのです。途中、いろんな場面が思い出されたのでしよう。嗚咽まじりとなりましたが、それでも最後には、「やりきった」という実感が胸に膨らんできたのだと思います。晴々とした清々しい笑顔で、みんなに感謝の言葉を口にしました。

「個人的なことなだけで、中学一年生の夏ぐらいに母さんが心の病気になるって、メンタル面がおかしくなって。夏休みに入ったある日、部活から帰ってきたら、母さんがリビングでビニール袋持ってますごく苦しそうにして。過呼吸らしいんだけど、それを見た瞬間、中一の私にすればショックっていうか、初めて見たときは何もできなくて、背中をさすることもできなくて。落ち着いてから話を聞くと、仕事場であるところあるらしくて。どこの病院行っても心臓には異常がなくて、薬もらっても息苦しいままだったから、メンタル病院に行っただけです。自分の母親がこんなになると思ってたから、すごく自分の心の中がきつくて。友達に言おうとしたんだけど、なかなか言えなくて。

中二に入る前の春休みには、父さんと母さんが喧嘩っていうか、そういうこともあって離婚しかけたこともありました。離婚するから、みたいなのを部活行く前に言われて。その日の部活はあんまり集中できなくて。結局話し合った結果、離婚せずにすんだんだだけ。学校ではそういうことは言わずに隠していました。

今言えたのは、学級のみんなが本音で話してくれたから。たぶんこの学年に生まれてなかったら、人権学習ももつとしたいとは思わなかっただろうし、みんなと離れたくないとも思わなかったと思う。みんなと出会えて本当に良かったし、今、本音を言えてよかったとスッキリしました。話まとまってないんですけど、卒業しても、仲の良いクラスでいましょう。ありがとうございました」

進路公開するヨウヘイ

こんな本音の語り合いに触発されたのでしよう。子どもたちにとって直近の課題である進路について語るヨウヘイの言葉は、家族のあり方や、進路を選択していく決意、覚悟をあらためて全員に問い直すことになりました。

「みんなが本音で言ってくれてるので、オレも言おうと思います。昨日、進路面談があって、今の状況見て志望校がどうかっていう面談したんだけど。オレはN高校をめぐらして、面談に行く前に父さん

と話したんです。もし落ちたらどうするんだって言われて、何も言えなくなつて。結局、話していくなかで、やっぱりN高校は難しいから諦めるっていうことになって。それで、受かる可能性の高いK高校にしました。

最後、受験校を決めるっていうのでK高校を願書に書いて、いざ願書を作るってなったとき、父さんが泣きながら言ったんです。今の状況見て、それでまだN高校って言うのなら、父さんはそれでもいいって。それで落ちて、一年だろうが二年だろうが、ちゃんと見守ってやるって。そのとき初めて、親から信頼されて、人として期待されてるんだって思った。今まで家族が大嫌いだっただけが、本当にバカらしく思えて。オレ人生で初めて、今までの自分を後悔した」

語っているヨウヘイは、途中からずつと号泣でした。本当は大好きな家族。でも、自分なりの意志や考えをもつようになってから、考え方で父母とぶつかることが度々ありました。うまく対話できれば良かったのですが、まだそこまでには至っていませんでした。そんな気持ちに、多くの子どもが共感したのだと思います。同じ思いで聞いていたのだと思います。そして、「アイツも自分と同じなんだ」「アイツが頑張るなら自分も頑張る」と、自然に思えたのだと思います。

進路公開

進路選択は、ナイーヴな問題です。進路が決まっている者とまだの者が同居する教室には、微妙な空気が漂い続けています。決まった者は妙によそよそしくなったり、それに対して決まっていなかった者には嫉妬心が芽ばえたり。決まっていなかった者同士の間にも、何ともいえない腹の探り合いのようなす黒い空気が漂ったり。決まった者も決まっていなくても、決まっていなくても、互いの存在が気になって仕方がないのです。特に、それまで仲間づくりを強気に推し進めてきたからなおさらです。ならばいっそのこと、進路について互いの悩みを出し合えば、どんなに気分が楽になるか。そんな進路公開の大切さも、教室で訴えてきたことの一つでした。

ここでいう進路公開とは、文字通り、自分が進むうとして、また進むことを決めた次の進路をみんなに公開することですが、ねらいとする内容はそれに留まるものではありません。進路選択の過程における不安や悩みも、進路公開の一つです。次の進路だけではなく、さらに先の進路について、互いの夢を語り合う場でもあります。また具体的な進路だけではなく、どんな生き方をしたいのか、どんな人間になりたいのかを、これまでの学びから自己表明する、中学生活三年間の集大成の場でもあるのです。

(次回「こまかすことをやめた」)